

平成24年度
実施事業

事務事業名	障害者ホームヘルプサービス低所得者利用者負担軽減に要する経費
-------	--------------------------------

区分	No	名称
章	1	やさしさと共生するまち
節	3	誰もが安心して暮らせるまちをつくる
施策	3	障がい者福祉の確立
小分類	2	障がい者（児）の自立支援
主要な施策	1	①生活支援の充実
事務事業番号	006	事業開始年度 平成 12 年度 事業終了年度 平成 - 年度 会計種別 一般会計

部 名	保健福祉部	グループ名	高齢・介護グループ
-----	-------	-------	-----------

事務事業の概要 《Plan・Do》

目的	(事務事業の実施目的を具体的に記入してください)
	障害者施策によりホームヘルプサービスを受けていた者が介護保険に移行した場合の利用者負担を軽減し、介護保険サービスへの円滑な移行を図る。
事業内容及び実績	(事業内容及び平成24年度の実績を具体的に記入してください)
	障害者施策によるホームヘルプサービスの利用者が65歳に達するなどして介護保険適用となった場合にサービスを継続して利用できるよう、利用者負担を軽減することにより介護保険サービスへの円滑な移行を図るための経費であるが、平成24年度においては対象者がいなかった。 【事業実績】 軽減対象者数 0名
今後の方向性	(次年度以降の事業展開における改善など今後の方向性を具体的に記入してください)
	対象者の把握に努め、介護保険サービスへの円滑な移行を図る。
根拠法令等	(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称を全て記入してください)
	<ul style="list-style-type: none"> 登別市訪問介護等利用者負担額減額事業実施要綱 低所得者に対する介護保険サービスに係る利用者負担額の軽減制度の実施について（平成12年厚生省老人保健福祉局長通知） 介護サービス利用者負担軽減事業費補助金交付要綱（北海道）

事業費（財源内訳）の推移 《Plan・Do》

区分		単位	H23年度 決算	H24年度 決算	H25年度 当初予算	H26年度 見込	H27年度 見込
国庫支出金	名称	千円					
道支出金	名称 介護サービス利用者負担軽減事業費補助金	千円	0	0	36	36	36
地方債	名称	千円					
その他	名称	千円					
一般財源	名称	千円	0	0	13	13	13
事業費 合計			0	0	49	49	49

指標の推移 《Check》

区分		単位	区分	23年度 実績	24年度 実績	25年度 目標	26年度 目標	27年度 目標
成果 指標	① 利用者負担減額認定証交付者のサービス 利用割合（月平均）	%	目標値	100	100	100	100	100
			実績値	0	0			
	②		目標値					
			実績値					

比較		《Check》
平成24年度実施以前又は実施中に見られた課題、問題点等	左記の解決に向け行った取組や対策、工夫等	
<p>これまで、境界層該当で障害者施策でのホームヘルプサービスを利用していた者が介護保険適用となった場合に、利用者負担が発生することにより、介護サービスへの円滑な移行が困難となる。</p>	<p>介護サービスの利用者負担を軽減することにより、介護保険適用への円滑な移行が図られ、必要な介護サービスを受けられる。</p>	

担当グループによる事務事業評価の内容（複数回答可） 《Check》

1. 事務事業の妥当性について			
市が事業主体として実施していくべき妥当性の高い事業ですか？	<input type="radio"/>	① 市が主体に行うべき事業である	判断理由及びその他所見 介護保険の円滑な実施のための事業であり、市が行うことは妥当である。
	<input type="checkbox"/>	② 民間(事業者、市民団体等)でも実施可能である	
	<input type="checkbox"/>	③ 国、道、他団体等との連携や広域化が可能である	
	<input type="checkbox"/>	④ 国、道、民間等の事業と重複・類似している	
2. 事務事業の必要性について			
市民ニーズの状況等から勘案して、必要性の高い事業ですか？	<input type="checkbox"/>	① 市民、団体等から具体的な要望がある	判断理由及びその他所見 障害者施策によるサービスを受けていた者が利用者負担を軽減されることにより、必要な介護サービスを受けられる。
	<input type="checkbox"/>	② 市民アンケートの結果から必要性が高い	
	<input type="radio"/>	③ 社会情勢、地域事情等から必要性が高い	
	<input type="checkbox"/>	④ 市民の大部分が関連することから必要性が高い	
3. 事務事業の効率性について			
事業内容とコスト(事業費)のバランスがよい効率性の高い事業ですか？	<input type="radio"/>	① 低予算、少労力で高い効果をあげている	判断理由及びその他所見 補助金だけの予算計上であり、また人工、所要時間についても最低限の事務量となっている。
	<input type="checkbox"/>	② 市で実施するほうが民間委託より効率性が高い	
	<input type="checkbox"/>	③ 多額の経費や労力を要するがやむを得ない	
	<input type="checkbox"/>	④ 将来的に効率性を向上できる	
4. 事務事業の成果について			
目的を達成するための成果はあがっていますか？	<input type="checkbox"/>	① 成果指標の向上が見られる	判断理由及びその他所見 障害者福祉担当と連携を図り、対象者の把握に努めているが、近年、対象となる方がいないため、成果はあがっていない。
	<input type="checkbox"/>	② 市民、団体等の声から成果を感じられる	
	<input type="checkbox"/>	③ 目に見える形で成果があがっている	
	<input type="radio"/>	④ 成果の把握は困難である	

①担当グループによる評価 《Check》

維持	左記の評価を選択した具体的な理由(根拠)	介護保険制度の円滑な実施を図る目的の事業であり、障害者施策によるホームヘルプサービスを受けていた者が利用者負担を軽減されることにより、必要な介護サービスを受けられるようになる。
-----------	----------------------	--

②行政評価会議による評価 《Check》

維持	備考
-----------	----

③総合的な評価(当該事務事業の方向性) 《Action》

維持	備考
-----------	----

〔評価区分〕

- ◆拡大 (事務事業の目的を達成するために事業の規模や経費の大幅な変更が必要な事業)
- ◆維持 (事業内容の根幹にかかわる部分については変更せず、不断の点検・検証による効率的な経費の活用や軽微な見直しを行い、継続的に実施する事業又は、事業計画等で予め年次的に実施する事業内容等を定めており、実施年度によって経費や実施個所等に変更が生じる事業)
- ◆改善 (当該事業の目的を達成するために、現状の手段や経費、事業の方向性等、事業の根幹に関わる部分について見直す事業)
- ◆休止 (暫定的に休止する事業)
- ◆廃止 (事業の開始当初から目指していた成果が得られたなど、目的が達成された事業)
- ◆終了 (事業の開始当初から予定していた事業期間が終了した事業)